

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許さない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

HCT-CI スコアと造血幹細胞移植後の身体機能回復経過との関連性についての調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年7月から2017年12月までに当院血液内科において同種造血幹細胞移植を施行された方

2. 研究目的・方法

研究背景：同種造血幹細胞移植（HSCT）後は、化学療法や移植治療による副作用で、体調不良症状が起こり、活動量の減少、食欲不振、汎血球減少症により、筋力低下、ADL低下が起こるといわれています。また、近年 HSCT に対する適応が拡大しており Hematopoietic cell transplantation-specific comorbidity index (HCT-CI) の点数が高い患者に対しても施行されています。HCT-CI は合併症を点数化し、移植後の予後指標として使用されています。本研究では、カルテによる後方視的調査により HCT-CI の点数の違いが、HSCT 施行患者の入院中の身体機能回復の経過に与える影響を調査する事を目的としています。

研究期間

医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから
2020年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、移植ソース）
理学療法評価項目（6分間歩行距離、下肢筋力、握力、Berg Balance Scale、立位体前屈）
血液データ所見（WBC、Hb、RBC、PLT、Alb、CRP）、食事量、Berthel Index、Performance Status

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 リハビリテーションセンター 職名：理学療法士 氏名：保坂 雄太郎

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8441

研究責任者：

所属：昭和大学病院 リハビリテーションセンター 職名：理学療法士 氏名：保坂 雄太郎